



発行所：特定非営利活動法人 ベトナム子ども基金

〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13 アジア文化会館内

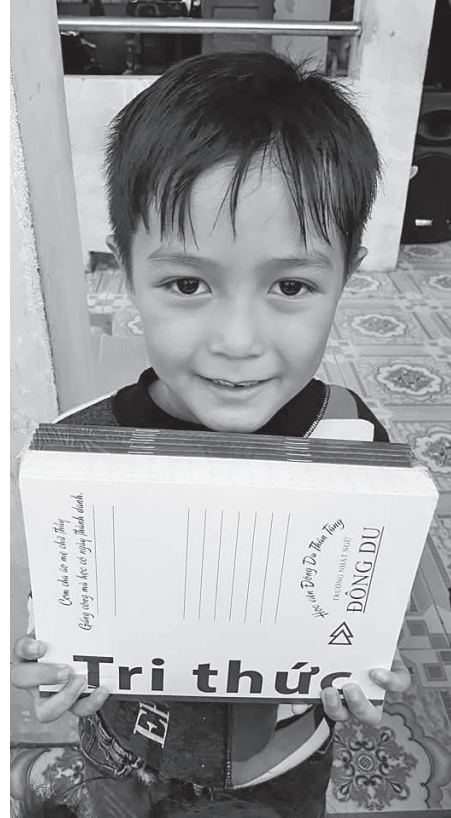
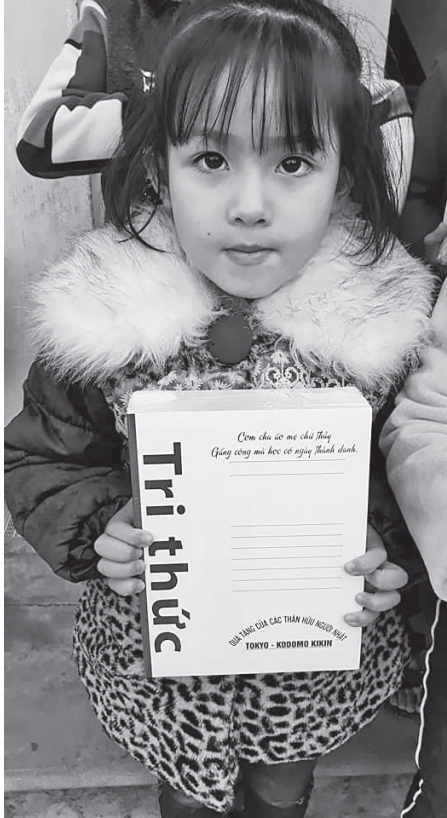
電話/FAX：03-3945-2415

電子メール：info@v-c-f.org

ホームページ：http://www.v-c-f.org/

ベトナム子ども基金通信

No. 74
2018. 7. 18



クアンビン省クアンチャック郡クアンドン小学校で「春の木運動」のノート进行う子ども

ベトナム子ども基金の会員になってから2年目に入りました。手紙や履歴票の翻訳、そしてベトナム語クラブなどに参加して有意義な時間を過ごしています。子ども基金とのつながりをこれからも深めていきたいと思っています。

私は9年前に国費留学生として来日しました。今は東京大学大学院の博士課程に在籍しています。田舎に生まれ、経済的に余裕がない4人きょうだいの家庭ですので、今の私があるのはさまざまな奨学金の支援のおかげです。子

も基金を初めて知ったのは、会員であったホアンさんに誘われて子どもたちの手紙の翻訳の手伝いに参加したときです。私は運営のスタッフが無償で熱心に働いて、困難がある子どもたちに支援を届けるのを見て、非常に感動しました。当時私は他の奨学金の支援を頂いていましたが、すぐに学生会員として入会させていただきました。

近年ベトナムの経済が発展しているという話をよく耳にします。それは事実です。でも、経済発展は大きな都市だけに集中してお

り、田舎では昔の私より困難がある子どもたちは現在でもまだ多くいます。発展と共に物価や教育費などが高くなり、その影響を一番受けるのが貧乏な家庭です。そのような家庭で育てられる子どもたちは筆記用具やノートさえ買えないというのが現実です。その子たちの夢がかなうように支援できるかは言えないですが、その一歩として学校に楽しく通い、たくさんを学び、将来の生活の土台を築ければと思っています。

(ヴァー・バン・タン)

2018年「春の木運動」

洪水被災地の子どもたちにノートをプレゼント

クアンビン省 — ハティン省 — タインホア省 2017年11月27日～12月1日

温かいご支援ありがとうございました。

今年は365,000円の寄付金が集まり、洪水被害に苦しむ子どもたちにノートを渡すことができました。

皆さまの励ましは子どもたちが学習する希望を持つ助けになりました。

子どもたちに代わりまして感謝申し上げます！ (事務局)



クアンビン省タイトウイ小学校でノートを渡す



クアンビン省クアンチャック郡クアンドン小学校でノートを渡す





ハティン省ヴァークアン郡フロント小学校でノートを渡す



タインホア省イエンディン郡イエンラム小学校でノートを渡す



タインホア省イエンディン郡クイロック小学校でノートを渡す



タインホア省ノンコン郡タント小学校でノートを渡す



元里子のリンちゃん! 東京大学大学院 博士号取得おめでとう! 結婚おめでとう!

ベトナム子ども基金の元里子で、日本に留学していたチャン・ゴック・リンさんが、ベトナムへ帰国する前に事務局を訪れてくれました。里子の履歴票や手紙の翻訳など、ボランティアでベトナム子ども基金の活動を手伝って来ていました。私たちは「リンちゃん」と呼んでいました（リンちゃんについては通信No.39、No.41、No.48号に掲載）。たいへんな努力家で大きく成長されたリンちゃんの帰国はうれしい反面、さみしいです……。帰国後はベトナムの国の研究所でお仕事をされるそうです。



近藤理事長と昔の履歴票を見るリンちゃん

また、会員でもありボランティアもしてくださっていた坂井裕樹さんと結婚、5月1日にベトナムで結婚式が行われました。いつまでもお幸せに!

リンちゃんのプロフィール

北部ナムディン省出身。2001年中学2年生から高校3年生までベトナム子ども基金（青葉奨学会）の奨学生。高校（化学専攻）卒業後、ドンズー日本語学校の留学プログラムに参加し、8カ月間日本語を勉強。

静岡に留学。2年間、日本語を学ぶ。

東京工業大学工学部国際開発工学科 入学。

発展途上国のインフラ整備のプロジェクトを工学系で管理することを学ぶ。

東京大学大学院 化学システムエンジニアリング 2018年 博士課程修了。

化学系プロセスの設計／運営

掘削、配管、エネルギー交換など、天然ガスを取り出すプロセスについて研究。

〈研究テーマ〉

稲わらからバイオエタノールを作る課程で、後に役立つものを取り出す。

バイオエタノールと融合させ、稲わらをより有効なものにする。

特許申請中

高校のときから化学を専攻していたので大学でも化学を学びたかったが、東工大の化学の学科は不合格となり、国際開発工学科に入学した。大学院では化学を学びたくて化学システムエンジニアリングを選んだ。

■家族

母、兄、姉（父は2歳のとき他界）

母親がバインクオン（蒸し春巻き）を作って売ることによって生計を立てていた。

当時の収入は、5,000円／月以下 経済的にたいへん厳しい家庭環境で育つ。

■どうして日本に留学したのか

高校卒業後大学に入学すると母親の負担になるので早く自立し、働きながら大学へ行きたかった。

その頃ドンズーの留学プログラムがあることを知り、アルバイトしながら勉強できると聞いた。

高校2年生が終わった夏休みに里親が訪ねてきてくれて、日本に親しみを持っていて行ってみたいと思った。

■日本での生活費

静岡の日本語学校時代：八百屋さん兼お弁当屋さんでアルバイト まかないがあったので助かった。

| | |
|----------------------|------------------|
| 大学時代：4年間お弁当屋さんでアルバイト | 60,000～70,000円/月 |
| 奨学金 大学1、2年 | 50,000円/月 |
| 大学3、4年 | 120,000円/月 |
| 大学院修士課程 | 180,000円/月 |
| 大学院博士課程 | 国費留学生 |

■日本での生活で最も苦しかったこと

一昨年の冬、研究の結果を出し、実験しながら発表しなければならなかったこと。

■日本人のよくないところ

働きすぎ。

■11年間を振り返って

楽しかった！後悔はない。忙しすぎて、体はつらいときもあった。お世話になった方たちに帰国のごあいさつに行っているが、この方たちが心のよりどころになる。この方々とのご縁を大切に、自信を持って挑戦していきたい。

リンちゃん、博士号取得・ご結婚おめでとうございます。

2005年6月ナムディンで初めてリンちゃんに会ったとき、リンちゃんは小柄であどけなさが残る高校生でした。昼食にバインクオン（蒸し春巻き）をごちそうになった後、家の近くの湖へ一緒に散歩に行き、リンちゃんが手をつないできてくれたのをよく覚えています。

日本に留学してからは、私の誕生日にケーキを焼いてきてくれたことがあります。アルバイトをしているお弁当屋さんのオーブンを、アルバイトが終わった後使わせてもらったと言っていました。アルバイト先の店長さんに感謝するとともにリンちゃんはいいい人たちに囲まれているのだな、と思いました。

日本にいる間、つらいこともあっただろうけれど、リンちゃんはいつも笑顔で勉強は楽しいと報告してくれました。本当によく頑張りましたね。これからはベトナムでの生活が充実したものになることを祈っています。そして今度はベトナムでの再会を楽しみにしています。
(元里親・今井幸恵)



中学生のときの履歴票を持つリンちゃん



2005年6月 リンちゃんと家のそばの湖のほとりで



2006年11月 ドンズーにて留学プログラム研修中のリンちゃんと

里子を訪問して

ベトナムの人々の最大の魅力は笑顔だと思います。日本ではむっつりしている私も、すぐに影響されて笑顔になります。2018年3月8日に里子のフィンさんを訪問しました。初めて会うのでとても楽しみにしていました。通訳をお願いしていたドンズー日本語学校に学ぶフンさんが来てくれました。これまで何度かお世話になった青葉奨学会のレイさんも来てくれました。2人とも若くて元気いっぱい、そしていつも笑顔です。車で里子の住むロンアン省カンユオック郡ドンタイ村に向かいます。フンさんとレイさんと運転手さんは初対面のはずですが、ずっと話し続けて3分間に1回は爆笑します。たいへんな盛り上がりです。私には話の内容は分かりませんが、一緒に笑ううちにすっかり仲良くなりました。

ドンタイ村は、本当に何も無いところでした。田んぼと畑、民家、雑貨店、学校。ほぼそれだけです。高層マンションが建ち並ぶオシャレ都市のホーチミン市とは全く違います。小学校に行って、まず校長先生や役所の方々にごあいさつをしました。校長先生は謹厳で、笑顔は全くなし。フィンさんの家庭の事情について説明を受けました。フィンさんは小学校3年生で、父親が病死した後に母親と本人は父親の家から追い出され、母親の実家に戻った。しかし村では全く仕事がないので、病気がちの祖母と3人の生活は非常に厳しい。

通訳のフンさんはこの話を聞いて、さらに奨学会の書類を読み、「こんなかわいそうな子どもがベトナムにいるなんて」と涙ぐんでいました。高度経済成長から取り残された田舎の現実、ベトナム人ですら知らない場合があるというのは本当のようです。



べそをかくフィンさんの周りに大人たちの手がいくつも集まる

フィンさんとの交流は自宅ですることになりました。まずお母さんがあいさつをしてから、本人にもあいさつをするように促しました。いつも感心するのですが、こういうときにはベトナムの子どもは非常にきちんと礼儀正しいあいさつをします。ところがフィンさんはうまく話せません。そのうちぼろぼろと涙を流し始めました。すると、謹厳な校長先生をはじめとする大人たちが慌てて彼女の周りに集まって、「おおよしよし、いい子だ、いい子だ、大丈夫だからね、頑張ってあいさつしようね、泣かないでね」と言いながら（ベトナム語なので私には分かりませんが、状況からはっきり分かりました）、頭をなでたり手を握ったりあやしたり、懸命に機嫌を直そうとします。謹厳な校長先生も今や慈愛に満ちた笑顔で「おおよしよし」を必死でやっています。私は感動しました。こういう経験ができるから私はベトナムにはまっているのだな、ということをはっきりと自覚しました。観光旅行ではこういう普通の人々の普通の気持ちが表れた姿を見ることはできません。ベトナム子ども基金のおかげでこういう感動を体験できるのです。感謝です。しかもこの感動は、外国人の珍しい行動に感動したのではなく、日本人がかつて持っていて、次第に失ってきたものがはっきり形になって現れたのを目撃したことによる感動です。実際、私が幼い頃には子どもが泣くと周りの大人はこうやってなだめたものです。それは子どもに甘いなどという次元ではなく、小さな子どもに対する大人の文化的な反射行動です。家族だけでなく近所のおじさんおばさんまで集まってきてあやしたものです。しかし現代の日本ではこうした光景はほとんど見ることはできません。他人さまの子どもが泣いているのを真剣になだめたら、おそらくむしろ不審がられるでしょう。なぜでしょうね。



泣きやんだフィンさん

フィンさんはようやく泣きやんで気を取り直しました。すると大人たちはさっと身を引いて、何事もなかったかのような顔をしています。校長先生も謹厳な表情

に戻りました。すると彼女は「本日はわざわざ来ていただき本当にありがとうございました。おかげさまで私は一生懸命に勉強しています。これからもどうかよろしく願いいたします」というような大人びたあいさつをきちんとすることができました。これは通訳してもらいました。まだ少しベそをかいていますが、立派なものです。誰かが「どうして泣いちゃったのかな？」と聞きました。すると「緊張したし、死んだお父さんを思い出してしまった」と言うのです。私を見てお父さんを思い出したというのですから、私もなんとか「里親」の役割を果たしたことになります。じーんと感動しました。名誉なことです。

帰りのハイヤーでは私も含めて4人が何だかすごく仲良くなってしまいました。フィンさんのおかげで強い連帯感が生じたのかもしれませんが。とてもハッピーな気持ちになり、「みんなで遅い昼食を食べてから解散しよう」ということになりました。最高にうまい店を知っているというフンさんの提案で、大きな屋台店に入りました。ちなみにフンさんは「屋台店」のことを「道路の食堂」と表現しました。自分で発明した日本語でしょうか。本当においしくて、4人とも非常に満ち足りた気持ちになり、別れを惜しみつつ笑顔で解散しました。ベトナムは素晴らしいです。笑顔こそが私の出会ったベトナムです。(道又 爾)



左からフンさん、校長先生、道又氏、フィンさん、お母さん、おばあさん、レイさん

トナムからの手紙

姉と私が
学校を続けられるように



クン・ヒュー・クイ

里親さま、私がよく勉強できるように奨学金を下さってありがとうございます。この奨学金のおかげで私はよく勉強できました。

私の家庭は、貧困家庭に分類されています。父は長い間心の病気です。仕事できません。母は父の世話をし、姉と私を育てなければなりません。これまで、私の家族は役所や村に支援をお願いしなければなりませんでした。そうやって、姉はやっと学校へ行くことができました。

私は今4年生です。姉は11年生です。今年度末、姉と私は二人とも非常に優秀な学生になって賞をもらいました。夏休み、来年度の勉強のお金を作るために、姉はロンスエンの

フォーの店に働きに行かなければなりません。私は家にいて、母と祖母に従って父の世話をし、祖母を手伝います。

里親さま、父の病気はだいぶ良くなりました。自分のことができます。ですから、母も働く時間ができました。母はシーフードレストランの調理補助をしています。朝8時に仕事に出かけ、夜10時に家に戻ります。お給料は1日100,000ドン(約550円)です。夜遅くにしか帰れませんから、母はとても疲れています。夜、家に戻ったら家の片付けをして、朝起きてからご飯を作って仕事へ行きます。母のお金があって、少し苦労が減って、借金も減りました。

父の病気が治って、姉と私が学校を続けられるように母が仕事ができることだけを願っています。



奨学金は大きな原動力



チャン・ティ トウー・フォン

最初に、里親さまと奨学会の皆さんのご健康を心からお祈りします。本当に私はとても幸運です。幸せが私の所に、私の家のように貧しい家族にも来ました。青葉奨学金を頂くことができました。私に奨学金を下さる優しい心の方にまだお会いすることができていません。この奨学金が私にとって大きな意味があるのは、大きな原動力だからです。奨学金は私を応援し、安心させ、前方に多くの苦難があってもしっかり自信を持たせてくれます。私に誇りと、一生懸命勉強することで自信を下さって、とても感謝しています。本当に深い意義があります。里親さまと奨学会の皆さんに、たいへん感謝しています。

終わりに、里親さまと青葉奨学会に心からごあいさつします。この奨学会がますます成功することを祈っています。

●事務局から

◆ベトナム子ども基金会員募集！ (友人・知人をお誘いください。ご協力お願いします！)

| 種別 | 名称 | 会費 | 内容 | 総会議 法権 |
|------------------------|----------|------------------------------|---|-----------|
| | 運営会員 | 年額1口 20,000円 (学生：10,000円) | 主に会の運営に関わり、事務局作業などをしながら子どもたちを支援する(学生は年会費半額)。 | あり |
| 基金 支 援 会 員 | 里親基金 | 年額1口 20,000円 | 特定の子どもに「里子」として奨学金を支給する。ベトナム青葉奨学会から、子どもの家庭状況を説明する履歴票が届き、里子との手紙のやりとりができる。 | なし |
| | 里親学生基金 | 年額1口 10,000円 | 同上(学生対象) | なし |
| | 一般基金 | 年額1口 12,000円 | 子どもたち全体の「里親」という関係を想定している。通信を通じて子どもたちの様子を報告する。 | なし |
| | 法人基金 | 年額1口 50,000円 | 一般基金に準じる(株式会社等の法人対象)。お名前を通信・ウェブ等でご紹介。 | なし |
| | 賛助基金 | 自由 | 一般基金に準じる。金額、回数などいっさい自由。 | なし |
| | 学校建設黄梅基金 | 応相談 | 青葉奨学会と相談の上、ベトナムの辺地に学校を建設する。該当学校に黄梅奨学金を併設することも可能。 | なし |
| | 個別黄梅基金 | 300,000円以上 | 年に1度、預金利子を奨学金とし、支給する。基金の名前、支援地域等、相談の上決定する。 | なし |
| | ベトナム黄梅基金 | 10,000円以上 | 複数のベトナム子ども基金会員で基金を設立、年に1度、預金利子を奨学金とし、支給する。 | なし |

◆ベトナム子ども基金へのご寄付は、下記の口座にお願いいたします。

口座名(共通) 特定非営利活動法人ベトナム子ども基金 (カナ)：トクヒ ベトナムコドモキキン
基金支援会員(里親基金・里親学生基金・一般基金・法人基金・賛助基金)

郵便振替 00100-6-546799 みずほ銀行駒込支店 普通：1121865

基金支援会員(学校建設黄梅基金・個別黄梅基金・ベトナム黄梅基金)

郵便振替 00130-4-552361 みずほ銀行駒込支店 普通：1121873

運営会員

郵便振替 00100-6-546799 みずほ銀行駒込支店 普通：1121865



フェイスブック見てください！

事務局の様子、ベトナムでの子どもの様子など掲載しております。一度のぞいてみてください！

<https://www.facebook.com/vnkodomokikin>